

＜理＞科学習シラバス

科 目	地学	学年・類型	3年生・Ⅰ型	単位数	3単位	教科書	高等学校 地学 (啓林館)		
学習の到達目標		日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、自ら課題を設定し、見通しをもって観察、実験などを行う。科学的に探究する資質・能力を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的に探究しようとする態度を養う。							
評価の観点	A 知識・技能		B 思考・判断・表現		C 主体的に学習に取り組む態度				
評価の内容	観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。		事象を実証的・論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決する。科学的に判断し、言語活動を通じて表現する。		地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身につけている。				
評価の方法	・提出物の記述内容 ・観察及び実験の基本操作、記録 ・単元小テスト ・定期考査		・提出物の記述内容 ・観察及び実験の考察、分析 ・単元小テスト ・定期考査		・提出物の記述内容 ・授業及び観察、実験における取組				
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容			評 価 の 観 点			
			A	B	C				
1 学 期	4	第1部 固体地球の概観と活動 第1章 地球の概観	・重力測定により地球内部を知る原理と応用例を理解する。 ・地震波の観測から地球の内部を知る原理と歴史を学習する。 ・地球の主な熱源を知り、地殻熱流量と地形の関連を理解する。 ・地磁気の原理から、大陸移動理論や太陽活動との関連を理解する。			○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
	5	第2章 プレートテクトニクス	・プレートの境界の特徴について学習する。 ・プレートの分布と運動について学習する。 ・大地形の形成とプレートテクトニクスについて学習する。 ・プレートテクトニクスとマントルの動きについて学習する。			○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
	6	第3章 地球の活動	・日本付近で発生する地震の分布と種類について学習する。 ・地震波や震源の決定方法について学習する。 ・地殻変動の実例から性質を理解する。 ・火山と火成岩の形成について学習する。 ・火成岩の産状と組織、深成岩の形成条件の違いについて学習する。			○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	
	7	第2部 地球の歴史 第1章 地表の変化と地層	・浸食、運搬、体積による地表の変化について学習する。 ・地層の形成と、現地調査による解析の原理を理解する。			○	○ ○	○ ○	
	8・9	第2章 地球・生命・環境の歴史	・地殻の進化と形成について学習する。 ・生命の進化と、地表変動の歴史にある相関を理解する。			○	○ ○	○ ○	
2 学 期	10	第3章 私たちの日本列島	・日本列島の形成をプレートテクトニクスから学習する。 ・日本列島の地質構造と地下資源との密接な関連を理解する。			○	○ ○	○ ○	
	11	第3部 大気と海洋 第1章 大気の構造	・大気圏の構造と雨や雲のでき方を学習し、エネルギーの流れを理解する。			○	○ ○	○ ○	
	12	第2章 大気の運動	・風の吹き方から、季節ごとの天気図の見方を学習する。			○	○ ○	○ ○	
	1	第3章 海洋と海水の運動	・海流のしくみと特徴を学習し、津波や高潮などの現象について理解する。			○	○ ○	○ ○	
	2	第4章 気候変動と地球環境	・異常気象のメカニズムを学習し、人間活動との関連についても理解する。			○	○ ○	○ ○	
3 学 期	3	第4部 宇宙の構造 第1章 太陽系の天体	・太陽系形成の歴史を解明していった原理やしくみを理解する。			○	○ ○	○ ○	
	1	第2章 恒星の性質と進化 第3章 銀河系と宇宙	・恒星の誕生と進化の歴史を学習し、太陽が標準的な恒星であることを理解する。 ・銀河系や他の銀河を観測してわかる宇宙の進化の過程を学習する。			○	○ ○	○ ○	
	2								
学習のポイント		・教科書の内容を予習しておく。 ・授業中の説明や板書を随時ノートに書き写し、理解できなければ質問をする。 ・全ての活動に真剣に、意欲的に取り組む。							